

富士ゼロックス株式会社 小林節太郎記念基金
2016年度(第21回)小林フェローシップ募集要項

1. 小林フェローシップの目的

人文・社会科学の分野においてアジア・大洋州を研究テーマとしている日本の若手研究者が自由な発想のもとに充実した研究活動を行ない、結果として博士号取得に結びつくよう支援します。これにより、①当該分野における日本のアジア・大洋州研究を活発化させ、②国際的識見・経験を持つ将来の指導者を育成し、③日本とアジア・大洋州諸国・地域との学术交流の架け橋となる基盤を強化するものとします。

2. 対象

1) 研究分野

助成の対象分野は人文・社会科学とし、且つ、アジア・大洋州諸国・地域を研究テーマとする個人研究とします。

研究者がアジア・大洋州諸国・地域の社会・文化などへの理解・認識を深め、将来これにより相互理解が一層促進されるような研究を重視します。

(注) ここで言うアジア・大洋州諸国・地域とは、次の国・地域を示します。

アジア 西はトルコ(ボスポラス海峡)まで、(エジプトはアフリカ)

北はモンゴルまで、旧ソ連邦の中央アジア諸国を含む。

大洋州 オーストラリア、ニュージーランド、オセアニア地域の島国

2) 応募者の資格

応募(2016年1月31日現在)および助成金授与の時点で、下記のすべての条件を満たしていなければなりません。

- ① 日本国籍を有し、日本に在住している者。もしくは日本に永住を許可されている者。
- ② 日本国内の大学において大学院博士課程(前期博士課程など修士課程相当を除く)在籍者、または大学院博士課程を修了し、博士号取得のために継続して在籍している者。
- ③ 指導教授の推薦を受けられる者。
- ④ 博士号を取得済、あるいは助成金授与時(2016年7月末)までに博士号取得が決定(内定)している者は応募できません。

3. フェローシップの概要

アジア・大洋州諸国・地域において調査・研究活動を行なうに当たり、これに関わる費用(渡航手続き費用、旅費、滞在費、参考文献購入費など)を研究助成金として支給します。

1) 助成金額と採用数

1件当たり120万円を限度とし、8名程度を採用します。

2015年度は、8名に対し、49~96万円/件を助成しました。(審査の結果、申込金額に対し実際の助成金額が減額される場合もあります。)

2) 助成期間

原則として助成金受領後1ヶ年を助成対象期間とします。

3) 再助成

既に一度当基金の助成を受けた者が再助成を希望する場合は、前回(第一回目)助成時の研究計画を添付し、再助成を受ける理由を明確にしなければなりません。尚、再助成は1回に限ります。

4) 助成を受ける者の義務

- ① 助成を受けた者は、提出した研究計画に基づいて研究を行い、助成期間終了後3ヶ月(2017年10月末まで)以内に研究報告書(A4サイズ用紙30枚、30,000字前後)および会計報告書(サマリーにて可)を指導教授を経由の上、当基金事務局に提出してください。
- ② 研究内容により研究成果を公開したり、または富士ゼロックス(株)主催の研究会において発表していただくことがあります。
- ③ 博士号を取得した場合、研究を中断する場合、または住所・電話など連絡先を変更した場合は、すみやかに書面にて当基金事務局に通知してください。

5) 助成を受ける者への支援

上記 4) の①により提出された研究報告書は、当基金にて複製・製本し、内 30 冊を当人に贈呈する他、国内外の大学・研究機関および当基金で助成を受けた OB/OG からの希望に応じて寄贈します。

6) 助成金支給の時期

2016 年 7 月下旬(予定)に合格者の指定口座に全額一括して振込みます。

4. 選考のプロセス

1) 選考の基準

主として次の項目について高い評価が得られたものの中から選定します。

- ① 独創性：テーマ設定、研究方法に独創的な発想がみられるもの
- ② 社会性：日本とアジア・大洋州の相互理解の促進に貢献する可能性が大きいもの
- ③ 研究成果が博士号請求論文として提出され、近い将来学位取得の可能性が高いもの

2) 選考の方法および決定

当基金選考委員会による書類選考の合格者に対して、4 月下旬までに東京にて面接による選考審査を行いません。最終合格者は、選考委員会の答申に基づき、5 月末までに当基金運営委員会にて決定されます。

- ① 書類選考、面接選考のいずれも「合」「否」の結果は、決定次第、本人、推薦教授に E メールまたは書面にて通知されます。
- ② 最終合格者の確定は、追って開催される当基金主催の研究助成説明会・懇親会への参加が前提となります。

5. 応募手続

1) 応募方法

- ① 最初に次の URL 「5. 応募手続」 から応募者情報を登録して下さい。

<http://www.fujixerox.co.jp/company/social/next/foundation/fellow.html>

- ② 実施後、次の書類を応募締切日までに当基金事務局まで簡易書留で郵送してください。
 - a. 当基金所定フォームによる申込書および経歴書(写真貼付)
 - b. 指導教授の推薦書(当基金所定フォームを使用し、厳封のこと)
 - c. 研究計画の概要(任意 A4 横書き 2 枚以内)およびスケジュールと予算案(所定フォーム)
 - d. 在学証明書

* a~c までの書式は、上記①の URL からダウンロードできます。

2) 応募期間

2015 年 12 月 1 日(火)~2016 年 1 月 31 日(日) (2016 年 1 月 31 日消印のあるものは有効)

3) 注意事項

- ① 基金に提出いただいた申込書類はいずれも返却いたしません。必要な書類については、提出する前に控えをとるようにしてください。
- ② 助成の「合」「否」やその理由については、一切問い合わせには応じられません。
- ③ 申込内容に虚偽があることが判明した場合には、採用は取り消しとなります。
- ④ 当基金では、当基金以外の助成機関からの奨学金・助成金等との併給を認めておりますが、助成機関によっては併給を認めていない場合がありますのでご注意ください。

4) 応募書類の送付先・申込手続に関する問合せ先

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3
富士ゼロックス株式会社 小林節太郎記念基金事務局
電話 (03) 6271-4368 FAX (03) 6271-5166
e-mail : fellowship@fujixerox.co.jp

経 歴 書

年 月 日現在

氏 名	印
-----	---

(1) 学 歴

	学校名(上段)および所在地(下段) (所在地は都道府県市区のみ記入)	入学・卒業年月	専攻科目	取得学位 または資格
高校		入学 年 月		
		卒業 年 月		
大学		入学 年 月		
		卒業 年 月		
大学院 (修士)		入学 年 月		
		卒業 年 月		
大学院 (博士)		入学 年 月		
		卒業 年 月		
		入学 年 月		
		卒業 年 月		

(2) 職 歴

勤務先および所在地(都道府県市区のみ記入)	勤務期間	職務内容・役職名
	～	
	～	

(3) 日本国内での緊急連絡先

氏 名	本人との関係	住 所	電話番号

(4) 現在受給している奨学金・助成金等(月額換算で8万円を超えるもの)を記入してください。

助成団体名	助成対象期間	金 額

(5) 現在申請中の当基金以外の奨学金・助成金等(月額換算で8万円を超えるもの)を記入してください。

助成団体名	助成対象期間	金 額

富士ゼロックス株式会社 小林節太郎記念基金
2016年度 小林フェローシップ助成申込書

顔写真貼付

- ・サイズ 3×4cm以上
- ・6ヶ月以内に撮影したもの
- ・カラー/白黒いずれも可
- ・写真の裏面に氏名を記入

(注) 黒色にて記入してください。

記入日: 年 月 日

申込者氏名	ふりがな	性別 (○で囲む) 男・女	生年月日(西暦) 年 月 日						
				年 令: 才					
住 所	〒 TEL () - FAX () -								
Eメールアドレス									
在籍大学院	大学大学院		研究科		専攻				
所 在 地	〒 TEL () - FAX () -								
在 籍	博士課程 年 (5年一貫制の場合でも、博士課程該当年次で記入)								
指導(推薦)教授名									
研究テーマ	(内容を具体的に示す題目を簡単に記入してください。副題を含めて2行以内とします。)								
助成申込金額	(研究計画書の研究予算合計額を記入。1万円未満は切捨て)				0	0	0	0	円
3ヶ月以上の 外国滞在経験	有・無 (どちらかを○で囲む) ※有の場合、下記に期間、滞在国内および滞在目的を記入してください。 <期 間> <滞在国内・地域> <滞在目的> 年 月～ 年 月 年 月～ 年 月 年 月～ 年 月								
希望渡航先	(本フェローシップによって行きたい国・地域名および調査・研究機関を希望順に2つ挙げてください。) 国・地域名() 調査・研究機関() 国・地域名() 調査・研究機関()								
外国語能力 (自己評価)	(調査・研究に必要な外国語能力について自己評価し、該当欄に○をつけてください。)								
	外国語名	ほとんどできない	日常会話ができる	文献が読める	現地での聞き取り調査ができる	専門分野の議論ができる			

2016年度 小林フェローシップ候補者推薦書

年 月 日

富士ゼロックス株式会社 小林節太郎記念基金 行き

(推薦者)

大学名 _____ 大学大学院 _____ 研究科 _____ 専攻 _____

電 話 (_____) _____

職 名 _____

ふりがな

氏 名 _____ 印

Email _____

*メールアドレスは合否の連絡に利用させていただきますので、必ずご記入をお願いいたします。

小林フェローシップの候補者を次のとおり推薦します。

候補者名	
候補者について	<p>■ 大学院での所属部門 : _____ ■ 学年または身分 : _____</p> <p>■ 海外での研究目的の概要 : _____</p> <p>■ この基金の助成を受ける研究テーマ : _____</p> <p>■ 推薦者との関係とその期間 : _____</p> <p>■ 候補者の将来性をどのように見ておられますか(できるだけ具体的にお知らせください。): _____</p>

(本推薦書は厳封の上、候補者にお渡し下さい。開封されたものは無効とします。)

予算を作成する際のガイド

1. 交通費について
航空運賃はエコノミークラスとする
鉄道/船舶を利用する際、グリーン/特等の運賃は助成対象外
2. 備品の購入について
原則、パソコン、デジカメ、映像・音響機器、プリンター等のハードウェアの購入費用は助成の対象外
3. その他
研究者の生活費、授業料は助成の対象外

以上

公益財団法人高梨学術奨励基金
平成28年度 若手研究助成 応募要項

1. 助成の趣旨及び事業

当公益財団法人(以下、当財団)は昭和48年に設立され、歴史学及びこれに関連する学術研究の奨励援助を行い、もって我が国の学術の振興、文化の向上に寄与することを目的としています。

その趣旨を達成するための事業として、特に優れた成果をもたらすと期待される調査研究及び刊行に対し、下記3通りの費用助成を実施しています。

若手研究助成：平成28年4月1日現在満39歳以下の研究者の調査研究を対象として助成を行います。

特定研究助成：研究者の年齢に制限を置かず次のイ、ロそれぞれの助成を行います。

イ. 学界及び社会に重大な影響を与えるような成果が期待される調査研究に対する助成

ロ. 当財団が特に重要と認めて推薦する調査研究テーマに応募した研究者に対する助成

但し、当財団の都合により、募集をしない年度又は推薦する調査研究テーマを設けない年度があります。

刊行助成：平成28年度は募集いたしません。

なお、刊行助成は上記の研究助成成果の刊行を主としますが、それ以外でも申請者自身による調査研究成果が、特に優れていると認められた場合のその著作の刊行に助成を行います。但し、当財団の都合により、募集をしない年度があります。

本紙は「若手研究助成」の応募要項です。助成金額については下記「5. 助成金の概要」をご覧ください。

2. 助成の対象

(1) 歴史学(考古学、文献史学<絵巻等の視覚史料を含む>、及び美術史)とそれに関連する分野の調査研究

文献史学は、日本を中心とした調査研究を主な対象とします。又、美術史にあつては、日本を含む東洋の陶磁、工芸、絵画、彫刻、書跡などの調査研究を主な対象としますが、日本の伝統工芸史分野の調査研究も対象として考慮します。

(2) 文明興亡史の調査研究

現代の科学・技術は要素還元論の上に発展してきたが、このため全体を統括する思想や理念がなく、それぞれの分野が放置された状況になっている。このような状況に警告を鳴らし、現代社会の将来展望を考察する文明興亡史の調査研究を対象とします。

要素還元論:ある出来事や物を深く考えてみて、なぜそういう出来事が起こったのか、なぜこの物が存在しているのかを明らかにするには、その出来事や物を構成しているさまざまな要素を探り当てて、その最小単位である要素をもう一回つなぎ合わせたり、組み合わせたりすれば分かるという考え方(デカルトが提唱)。

3. 助成期間

同一の調査研究の助成期間は原則1年とします。

但し、その後当該調査研究について新たな申請を行うことにより再度1年助成の対象となる場合があります。

(通算2年間の助成が限度)

4. 応募資格

平成28年4月1日現在満39歳以下の日本の国籍を有する者。但し、過去に助成を受けている者は下記7の義務を果たしていることを応募資格に加えます。

5. 助成金の概要

① 平成28年度の若手研究助成の助成総額は、2,000万円程度を予定しています。

② 助成金の使途は、申請した調査研究に必要な資金とします。

③ 平成27年度の若手研究助成の助成総額実績は、助成件数47件(応募件数89件)、助成総額2,100万円
1件当り11万円～100万円(平均45万円)でした。

6. 助成対象者の決定

助成対象者は、選考委員会の議を経て、理事会が決定します。平成28年6月に、結果を書面にて通知の上、助成金を交付する予定です。なお審査の過程及び結果についての質問には一切応じられません。

7. 助成対象者の義務

- ① 助成金授与に際し、当財団に指名された場合は調査研究の内容を当財団に説明すること。
- ② 調査研究成果を発表する場合、当財団より助成を受けたことを明記及び明言すること。
- ③ 助成金授与の翌年3月10日までに、助成された調査研究の「成果報告書」及び助成金使途の領収証又はレシートを添えた「会計報告書」を提出すること。詳細については上記6. の決定通知と共にご案内いたします。なお、「成果報告書」の扱いについては、下記9. 年報を参照してください。

8. 応募方法

次の通り電子メールによる応募(申請)を基本としております。

なお、当方法によることができない場合は下記11の担当者までお問い合わせ願います。

- ① 所定の「若手研究助成申請書一式」を下記11の「公益法人情報公開共同サイト」から取得願います。この「若手研究助成申請書一式」には付随する「調査研究の概要」及び「推薦書(ご推薦がある場合のみ提出)」を含みます。
- ② パソコンにより①の申請書一式に必要事項を入力記入後(押印不要)、Wordのままメールにて添付送信願います。その際申請書に記したEメールアドレスから、下記11のEメールアドレス宛に送信願います。
(平成28年2月12日(金)17時必着)

- ③ ②の送信について受信確認の返信をいたします(応募受付完了)。

返信がない場合は下記11の担当者にて電話でお問い合わせ願います。

(注)イ. 過年度に助成を受けた方の申請書は、上記7. ③の通り3月10日までに「成果報告書」及び「会計報告書」が当財団事務局に到着していることを受付の条件とします。

ロ. 同一の調査研究を、「若手研究助成」及び「特定研究助成」両方に併願出来ません。

ハ. 申請に係る書類等は返却いたしません。

9. 年報

当財団は年度ごとに「年報」を作成しています。研究者から提出された全員の「成果報告書」をそのまま、及び当財団から助成を受けた「刊行物の概要」を掲載し、国会図書館、国公立大学、私立大学、博物館、美術館、研究機関、及び当財団の評議員、理事、監事、選考委員、相談役等の約220の関係機関及び関係者に配布しています。

10. 個人情報の取り扱い

- (1) 当財団がこの助成申請に関して取得する個人情報は、選考作業や選考結果の通知など本申請に関する業務及び当財団の事業や助成に関する情報の提供に必要な範囲に限定して取り扱います。
- (2) 当財団は、上記6. 助成対象者が決定した場合、助成対象者に関する(1)の個人情報及び上記成果報告書を当財団の年報等に掲載するなど一般公開いたします。
- (3) 個人情報に関する窓口: 下記11

11. 申請・問合せ先

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-4 オア一ゼネクサス芝浦 2F

公益財団法人高梨学術奨励基金 TEL03(5444)8432 FAX03(6453)7131

URL: <http://www.disclo-koeki.org/06a/00848/index.html> (公益法人情報公開共同サイト)

担当者: 牧島 信次(まきしま しんじ)

Eメールアドレス: shin-makishima@marujin.co.jp

以上

公益財団法人高梨学術奨励基金

平成28年度 特定研究助成 応募要項

1. 助成の趣旨及び事業

当公益財団法人(以下、当財団)は昭和48年に設立され、歴史学及びこれに関連する学術研究の奨励援助を行い、もって我が国の学術の振興、文化の向上に寄与することを目的としています。

その趣旨を達成するための事業として、特に優れた成果をもたらすと期待される調査研究及び刊行に対し、下記3通りの費用助成を実施しています。

若手研究助成：平成28年4月1日現在満39歳以下の研究者の調査研究を対象として助成を行います。

特定研究助成：研究者の年齢に制限を置かず次のイ、ロそれぞれの助成を行います。

イ. 学界及び社会に重大な影響を与えるような成果が期待される調査研究に対する助成

ロ. 当財団が特に重要と認めて推薦する調査研究テーマに応募した研究者に対する助成

但し、当財団の都合により、募集をしない年度又は推薦する調査研究テーマを設けない年度があります。

刊行助成：平成28年度は募集いたしません。

なお、刊行助成は上記の研究助成成果の刊行を主としますが、それ以外でも申請者自身による調査研究成果が、特に優れていると認められた場合のその著作の刊行に助成を行います。但し、当財団の都合により、募集をしない年度があります。

本紙は「特定研究助成」の応募要項です。助成金額については下記5. 助成金の概要をご覧ください。

2. 助成の対象

(1) 歴史学(考古学、文献史学<絵巻等の視覚史料を含む>、及び美術史)とそれに関連する分野の調査研究
文献史学は、日本を中心とした調査研究を主な対象とします。又、美術史にあつては、日本を含む東洋の陶磁、工芸、絵画、彫刻、書跡などの調査研究を主な対象としますが、日本の伝統工芸史分野の調査研究も対象として考慮します。

(2) 文明興亡史の調査研究

現代の科学・技術は要素還元論の上に発展してきたが、このため全体を統括する思想や理念がなく、それぞれの分野が放置された状況になっている。このような状況に警告を鳴らし、現代社会の将来展望を考察する文明興亡史の調査研究を対象とします。

要素還元論：ある出来事や物を深く考えてみて、なぜそういう出来事が起こったのか、なぜこの物が存在しているのかを明らかにするには、その出来事や物を構成しているさまざまな要素を探り当てて、その最小単位である要素をもう一回つなぎ合わせたり、組み合わせたりすれば分かるという考え方(デカルトが提唱)。

(3) 当財団が推薦する調査研究テーマ

平成28年度は上記1. ロに係る「当財団が推薦する調査研究テーマ」は設けません。

3. 助成期間と申請方法

① 単年度(1年)助成申請

「特定研究助成申請書一式(8. 応募方法①参照)」を新規申請時に提出。

② 複数年度助成申請

イ. 「特定研究助成申請書一式(8. 応募方法①参照)」を新規申請時に提出。

ロ. イ. に基づき原則3年以内の複数年度助成を行うことを初年度に決定いたしますが、単年度ごとに進捗評価を厳正に行います。その結果、進捗が計画と著しく乖離している場合は、その実情を勘案して選考委員会が複数年度助成を継続するか否かを決定いたします。

ハ. ロ. の趣旨に沿うために、各経過年度の助成金授与の翌年2月15日必着とする「調査研究進捗報告書」を提出(最終年度の提出は不要)。

ニ. 申請者は、同意の上、選考委員会に出席して申請書及び報告書等について説明することを求められる場合があります。

4. 応募資格

日本の国籍を有する者。但し、過去に助成を受けている者は下記 7 の義務を果たしていることを応募資格に加えます。

5. 助成金の概要(特定研究助成)

- ① 平成28年度は特定研究助成を1～3件公募します。但し、選考の結果助成該当案件無しの場合がございますので予めご了承願います。
- ② 選考の結果助成対象となった全件数及び全期間の助成総額は500万円程度(前回平成26年度実績:500万円)を予定しています。
- ③ 助成金の使途は、申請した調査研究に必要な資金とします。

6. 助成対象者の決定

助成対象者は、選考委員会の議を経て、理事会が決定します。平成28年6月に、結果を書面にて通知の上、助成金を交付する予定です。なお審査の過程及び結果についての質問には一切応じられません。

7. 助成対象者の義務

- ① 助成金授与に際し、当財団に指名された場合は調査研究の内容を当財団に説明すること。
- ② 調査研究成果を発表する場合、当財団より助成を受けたことを明記及び明言すること。
- ③ 単年度(1年)助成の場合は、助成金授与の翌年3月10日までに、助成された調査研究の「成果報告書」及び助成金使途の領収証又はレシートを添えた「会計報告書」を提出すること。
複数年度助成の場合は、各経過年度の助成金授与の翌年2月15日必着にて「調査研究進捗報告書」(最終年度の提出は不要)を、又、最終年度にあっては、助成金授与の翌年3月10日までに、助成された調査研究の「成果報告書」及び助成金使途の領収証又はレシートを添えた「会計報告書」を提出すること。
上記の各報告書提出の詳細については上記6. の決定通知と共にご案内いたします。
なお、「成果報告書」の扱いについては、下記9. 年報を参照してください。

8. 応募方法

次の通り電子メールによる応募(申請)を基本としております。

なお、当方法によることができない場合は下記11の担当者までお問い合わせ願います。

- ① 所定の「特定研究助成申請書一式」を下記11の「公益法人情報公開共同サイト」から取得願います。
この「特定研究助成申請書一式」には付随する「調査研究の概要」、「単年度・複数年度助成申請書」及び「推薦書(ご推薦がある場合のみ提出)」を含みます。
 - ② パソコンにより①の申請書一式に必要な事項を入力記入後(押印不要)、Wordのままメールにて添付送信願います。その際申請書に記したEメールアドレスから、下記11のEメールアドレス宛に送信願います。
(平成28年2月12日(金)17時必着)
 - ③ ②の送信について受信確認の返信をいたします(応募受付完了)。
返信がない場合は下記11の担当者に電話でお問い合わせ願います。
- (注)イ. 過年度に助成を受けた方の申請書は、上記7. ③の通り3月10日までに「成果報告書」及び「会計報告書」が当財団事務局に到着していることを受付の条件とします。
ロ. 同一の調査研究を、「若手研究助成」及び「特定研究助成」両方に併願出来ません。
ハ. 申請に係る書類等は返却いたしません。

9. 年報

当財団は年度ごとに「年報」を作成しています。研究者から提出された全員の「成果報告書」をそのまま、及び当財団から助成を受けた「刊行物の概要」を掲載し、国会図書館、国公立大学、私立大学、博物館、美術館、研究機関、及び当財団の評議員、理事、監事、選考委員、相談役等の約220の関係機関及び関係者に配布しています。

10. 個人情報の取り扱い

- (1) 当財団がこの助成申請に関して取得する個人情報は、選考作業や選考結果の通知など本申請に関する業務及び当財団の事業や助成に関する情報の提供に必要な範囲に限定して取り扱います。
- (2) 当財団は、上記6. 助成対象者が決定した場合、助成対象者に関する(1)の個人情報及び上記成果報告書を当財団の年報等に掲載するなど一般公開いたします。
- (3) 個人情報に関する窓口: 下記11

11. 申請・問合せ先

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-4 オアゼネクス芝浦 2F
 公益財団法人高梨学術奨励基金 TEL03(5444)8432 FAX03(6453)7131
 URL:<http://www.disclo-koeki.org/06a/00848/index.html> (公益法人情報公開共同サイト)
 担当者: 牧島 信次(まきしま しんじ) Eメールアドレス: shin-makishima@marujin.co.jp

以上

RRP

Rishiri Research Project

Home

Application

Theme

Supporter

Leaflet

Contact Form

Application

2016年度募集要項 → 募集中!

応募資格

- ・利尻島についての研究をかねてから切望されている方。
- ・地方の学術研究などに興味があり、その成果の地元還元を考えていらっしゃる方。
- ・大学院修士課程以上、またはそれと同等の研究を行える方。
- ・メールでの迅速な対応が可能な方。

対象分野

- ・当分の間、特に限定はしません(参考:[これまでの採択テーマ一覧](#))

採択者の義務

- ・利尻島に来島し、調査研究活動を実施してください。
- ・調査者がやりたいと考える専門分野に関する普及事業(ゼミや観察会、巡検など、そのほか活動形態は問いません)を利尻島で最低1回は開いてください。
- ・利尻町立博物館年報(利尻研究 Rishiri Studies)に調査研究報告を採択後2年以内に投稿してください。
- ・研究成果をほかに発表するときは、本事業の交付対象になったことを明示してください。

研究助成金と採択件数

- ・研究助成額は今年度は10万円です。
- ・助成金は出資者からの出資金によりまかなわれます。
- ・2016年度の採択件数は1件のみを予定。

重複申請

- ・同一研究者が、複数の研究課題を申請することはできません。

期間

- ・2016年4月より2017年3月までに来島調査、普及活動を実施してください。
- ・調査研究報告の投稿は2017年12月までに提出してください。

助成金の交付

- ・助成金は来島時にお支払いいたします。
- ・交付者の義務が2年たってもすべて果たされない場合はご返金をお願いいたします。

申請方法

- ・[ここ](#)から「利尻島調査研究事業申請書」のPDFファイルをダウンロードしてください。
- ・PDFファイルのフォームに記入し、ファイル上のフォーム送信ボタンを利用するか、保存したPDFファイルを利尻島調査研究事業事務局宛 (rrp@mac.com) に添付し、メールしてください。

提出期限

- ・2015年12月31日(木)まで

交付者の決定

- ・2016年3月1日(火)までに結果をメールにて送信する予定です。

© 利尻島調査研究事業 2016

第20回米百俵賞 募集要項

■対象

教育、文化、福祉、スポーツ、産業等の分野において、独創的な活動により人材の育成に大きく貢献し、「米百俵」の精神を今に体現する個人又は団体。表彰は、原則として1名又は1団体とします。（国籍、居住地は問いません。）

■賞

表彰楯、副賞（賞金100万円）

■募集期間

平成27年10月1日（木曜日）から平成28年1月8日（金曜日）まで

■推薦方法

所定の推薦書により、長岡市米百俵財団事務局に推薦してください。自薦、他薦は問いません。（推薦書の各様式は、ホームページからもダウンロードできます。また、メールで推薦書を提出することもできます。）

■選考方法

推薦のあった個人・団体の中から長岡市米百俵財団の米百俵賞選考委員会において受賞者を選考します。

■選考委員

委員長 関川 夏央（作家）
委員 近藤 孝子（前長岡市教育委員長）
佐竹 直子（NPO 法人多世代交流館になニーナ代表）
水流潤太郎（公立大学法人長岡造形大学理事長）
丸山 智（長岡商工会議所会頭）

■選考結果

平成28年3月下旬に受賞者を決定します。

■表彰

平成28年6月15日の「米百俵デー市民の集い」で表彰します。

■推薦先

公益財団法人長岡市米百俵財団事務局
（長岡市教育委員会教育総務課内）
〒940-0084 新潟県長岡市幸町2-1-1
TEL 0258-39-2238 FAX 0258-39-2271
E-mail kyoso@kome100.ne.jp
URL <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/cate12/kome100zaidan/>

2016 ARIAH (Association of Research Institutes in Art History) East Asia Fellowship

Deadline: December 31, 2015

East Asia Fellowship Program Association of Research Institutes in Art History

The Association of Research Institutes in Art History (ARIAH) is a consortium of 27 museums and research centers based in North America. ARIAH's goal is to promote scholarship in art history and to foster intellectual exchange among art historians from different parts of the world. In pursuit of that goal, ARIAH has established a fellowship program that will enable scholars from countries in East Asia to conduct research at an ARIAH member institute on any topic in the visual arts.

Facts about the ARIAH East Asia Fellowship program: Eligibility: Applicants should hold an advanced degree and/or demonstrate a record of scholarly achievement. Scholars from the following countries are eligible to apply: Japan, Mongolia, People's Republic of China (including Hong Kong and Macau), Republic of China (Taiwan), and South Korea. English-language competence (spoken and written) is required. Duration: Fellowships will last three to four months. Dates: Deadline for applications is December 31, 2015. ARIAH will notify awardees by April 1, 2016. Fellowships may begin no earlier than September 1, 2016, and must be completed by August 31, 2017 Award: Fellowship awards will include a living stipend, international travel costs, and accommodations.

Funding for the ARIAH East Asia Fellowship program comes from the Andrew W. Mellon Foundation, the Getty Foundation, and the Terra Foundation for American Art.

Complete information about the ARIAH East Asia Fellowship Program can be found at www.ariah.info/EAF. For more information, contact ea-fellowship@ariah.info.

[Login](#) or [Sign up](#) to get started.

FORMS

APPLICATION FOR ARIAH EAST ASIA FELLOWSHIP

Application deadline is December 31, 2015, 5:00 PM EST. Applications received after the deadline will not be considered.

All applications must be in English. Applicants must be able to demonstrate that they are fully competent in English.

1. Institutional affiliation and position.

If you are not currently affiliated with an institution, write "independent scholar."

2. Academic degrees held

For each degree, indicate the institution and the year received

3. Title and brief description (up to 50 words) of project proposal for fellowship period.

4. Each fellow will be hosted at one ARIAH member institute (the "host institute") for two months, and then have one to two months to travel to conduct additional research. Indicate here your first choice for an ARIAH host institute.

Information on the 27 member institutes of ARIAH can be found through their

6. Indicate your third choice for an ARIAH host institute.
7. Indicate your fourth choice for an ARIAH host institute.
8. Indicate your fifth choice for an ARIAH host institute.
9. Indicate the months (minimum of 3 consecutive months) when you are available for the fellowship.
Dates cannot be earlier than September, 2016 or later than August, 2017.
10. Curriculum vitae
A short form Curriculum Vitae in English, including scholarly publications, not longer than 5 pages.
11. Project Proposal
Proposal description in English, not longer than 4 double-spaced pages. Your proposal should describe the goals of your research at your preferred research institute(s); how this research fits into your larger project; and the contribution that your project will make to your field of study. The Proposal should also indicate which resources at your preferred research institute(s) you plan to use, and how these resources are essential to your project.
12. Research and Travel
Provide a one-page summary of the research you intend to conduct in the two-month residence period of the fellowship and a brief itinerary of the travel you wish to undertake in the second one or two months of the fellowship.
13. How did you hear about this program?

ATTACHMENTS

1. Publication
Either a chapter or an article not to exceed 30 pages.

REFERENCES

Provide at least 2 references.

[Login](#) or [Sign up](#) to get started.

2015年10月20日

大阪大学
総長 平野 俊夫 様

一般財団法人伊藤忠兵衛基金
代表理事 伊藤 隆



2016年(平成28年)度 学術研究助成金 募集要項

当法人は貴大学に於ける学術研究助成金を下記要領にて募集致します。

1. 学術研究助成の趣旨

当法人は我が国の学術及び文化に関する事業の振興に資することを目的とし、学術及び文化の研究を奨励援助し、有為なる研究者に対する研究費の助成をする。

2. 研究助成対象者

(1)名古屋以西に所在の国立大学に在籍する若手研究者及び若手先生(講師、准教授、助教)に対する研究助成で、研究内容は特に指定なし。

博士号取得者を対象に総長(学長)推薦。

(2)募集人数

各大学3名

3. 学術研究助成の期間と金額

(1) 期間

2016年(平成28年)4月～2017年(平成29年)3月

(2) 金額

年額¥500,000/1人

(3) 振込日

2016年7月1日予定

4. 応募方法(申請書類)

(1) 研究助成交付申請書(指定用紙)

(2) 経歴書(指定用紙はありませんので、内容が解る書面の添付をお願い致します)

(3) 研究の概要(同上)

(4) 研究業績書・著書(同上)

5. その他

年度末に研究成果報告と助成金使途明細を提出

(指定用紙はありませんので、内容が解る書面の添付をお願い致します)

6. 募集期限

2016年(平成27年)1月20日

以上

研究助成金交付申請書

一般財団法人 伊藤忠兵衛基金 御中

本申請者は「に関する研究」を行っています。

今般、貴法人が研究奨励助成金の交付を計画されていることを知り、ここにその交付申請を致したく存じます。

宜しくお願い致します。

年 月 日

ふりがな
申請者

添付資料

1. 経歴書
2. 研究の概要
3. 研究業績書・著書

経歴書

姓 名	
生年月日	
現住所	
本籍地	
現 職	
学 位	大学 博士（取得年月）
略 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	現在に至る
連絡先	
振込先	銀行 支店 種別 口座No. 口座名